

# 2018年度 事業報告書

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

一般社団法人交通環境整備ネットワークの10期目となった2018年度(平成30年度)においては、地域鉄道フォーラム2018及び鉄道写真詩コンテスト2018、セミナーレインを開催いたしました。

また、地域と鉄道の一層の結びつきが必要との認識のもと、交通環境の調査研究を進めると共に、各種催物への後援、協力等を行ってきました。

詳細については以下のとおりです。

## 1. 交通環境の調査研究

鉄道、バス等交通環境の現状に関する諸情報を収集するとともに、調査研究等を2018年11月発行の会報「地域交通を考える」第10号において公表しました。

「地域交通を考える」第10号の内容

【巻頭言】「魅力ある沿線・地域づくり」安藤隆司(名古屋鉄道代表取締役社長)

【特集「タクシー」】

「国際自動車の新たなるチャレンジャーホスピタリティ・ドライビング Km〜お客さまの笑顔を私たちの喜びとして」小林一雄

「タクシーのインバウンド対応について」久松 宏

「タクシーの現状と将来の姿を考える」下村仁士

【論考】

「参画型鉄道存続活動を興すために一住民に求められる要素・構造」山中 真

「地域の交通計画づくりを担う人材育成」入江 聡

「仙台空港の民営化と2次交通、着地型観光振興について」濱勝俊

「上下分離経営・オープンアクセスによる寝台夜行列車復活への提案」堀内重人

【ローカル鉄道奮闘記】

「既成概念との闘いの9年間」鳥塚 亮

【鉄道短歌解説】

「『連載 歌人の最寄駅』注釈考」塩島 翔

【海外の鉄道】

「ピレネー紀行2017」平田一彦

「ボゴタのBRTとメデジンの都市交通施設整備」日野祐滋

【連載：鉄道法律相談】

「第4種踏切道の改良」小島好己

【講演録】地域鉄道フォーラム2018「鉄道と音楽」

【鉄道写真詩作品】鉄道写真詩コンテスト2018の開催結果と作品

## 2. 交通環境の整備及びその活動に対する支援協力

### (1) 主催活動

- ① 地域鉄道フォーラム2018「鉄道と音楽」(国土交通省鉄道局後援)の開催

期 日：2018年(平成30年)6月9日(土) 13時00分～15時00分

場 所：東武博物館ホール

参加人員：113名

プログラム

1. 来賓あいさつ 国土交通省鉄道局鉄道事業課長 石原 大氏
2. 基調講演 「鉄道と音楽」 ミュージシャン/音楽館代表 向谷 実氏
3. トークセッション「鉄道と音楽の未来」  
ミュージシャン 向谷 実氏  
シンガーソングライター オオゼキタク氏  
鉄道アーティスト 小倉沙耶氏

コーディネーター／常務理事 向後功作

#### 4. セッション演奏

### ②鉄道写真詩コンテスト2018（国土交通省鉄道局後援）の開催

1. 作品の応募受付期間：2018年7月1日～2018年9月30日
2. 応募総数 200 作品
3. 審査委員

国土交通省鉄道局長

米屋こうじ（鉄道写真家）

水無田気流（詩人・社会学者）

一般社団法人交通環境整備ネットワーク代表理事

#### 4. 作品展の開催

表彰作品については以下のとおり作品展等を開催しました。

○東武博物館（東京都墨田区） 11月1日（木）～11月30日（金）

○鉄道博物館（埼玉県さいたま市） 11月7日（水）～11月26日（月）

同博物館において、11月17日（土）13：00～14：00「米屋こうじ&水無田気流トークステージ-鉄道写真詩コンテスト2018の応募作品をかたる-」を開催しました。

○東北福祉大学・鉄道交流ステーション（宮城県仙台市）11月7日（水）～11月17日（土）

○日本現代詩歌文学館（岩手県北上市）11月10日（土）～11月30日（金）

#### 5. 作品集ほか

作品集（A4二つ折り）2,000部 印刷配布（作品展示会場等で配布）

月刊「鉄道ジャーナル」2019年1月号（2018年11月20日発行）で受賞作品を掲載

作品を使った2019年カレンダーをホームページ上で公開（11月30日）

### ③セミナートレイン -鈴木商店と鉄軌道-の開催

期 日：2018年（平成30年）8月20日（月）18：30～20：00

場 所：東京都中央区立産業会館 第2集会室

講 師：特定非営利活動法人 須磨歴史倶楽部 理事長 小林善彦氏

参加人員：13名

### ④セミナートレイン -路面電車のある街・豊橋-の開催

期 日：2019年（平成31年）3月9日（土）13：00～17：00

場 所：豊鉄ターミナルホテル9階 多目的展望ホール「オーロラ」

ごあいさつ 豊橋鉄道株式会社鉄道部 部長 梅村仁朗氏

講演1 「とよはし市電のあゆみとこれから」とよはし市電を愛する会顧問 伊奈彦彦氏

講演2 「路面電車-社会学からのアプローチ」社会学者・愛知学泉大学講師 田中 人氏

見 学 赤岩口車両区

参加人員：25名

## (2) 後援・協力等の活動

### 後援

1. 東北福祉大学鉄道交流ステーション主催第33回企画展「仙台周辺にある鉄道の遺産・遺構を訪ねる」後援 2018年4月10日（火）～7月7日（土）
2. 東北福祉大学鉄道交流ステーション主催第34回企画展「鉄道のためにはたらく乗りもの」後援 2018年8月1日（水）～11月2日（金）
3. 東北福祉大学鉄道交流ステーション主催第35回企画展「実を結ぶ交流電化『43.10（よん・さん・とう）』」後援 2018年12月4日（火）～2019年3月2日（土）

### 協力

東北かけはしプロジェクト「トレインフェスタ」の開催協力。イトーヨーカドーアリオ西新宿店 2019年3月2日（土）・3日（日）

## 3. 安全対策・支援事業

- (1) パンフレット「鉄道は地域の架け橋」をリニューアル、地域鉄道支援の広報活動を行いました。

- (2) 2019年2月25日(月) 中央区立新富区民館において安全と快適性をテーマに鉄道技術安全懇話会を開催しました。

#### 4. 交通環境にかかる提言、出版並びに情報発信

(1) インターネットによる情報発信

①ホームページ

インターネットサイトの安全性の向上を図るため、2019年1月15日より常時SSL化を行いました。これにより <http://ecotran.or.jp/> は <https://ecotran.or.jp/> に変更となりました。なお、旧URLでも新URLに自動接続するよう措置しました。

②メールによる鉄道関係情報等の配信

鉄道等の地域交通関係諸情報を収集するとともに会員あてメールで配信を行いました。

なお、本内容は、過去分も含めてホームページ (<https://ecotran.or.jp/act/info/info.html>) でも確認できます。

(2) 会報「地域交通を考える」の発行

交通環境の調査研究論文及び諸情報をまとめた会報「地域鉄道を考える」第10号を2018年11月に発行しました。一般頒布は、ネットからの受付と共に東京神田神保町「書泉グランデ」、国土交通省地下一階「島田書店」での委託販売を行いました。

(3) 10年史の編纂

当法人は2009年4月に発足し、2019年度は10周年となります。これまでのあゆみを10年史としてまとめるためのデータの整理を行いました。

(4) 中央区立環境情報センターの登録団体

2019年2月7日付で中央区環境情報センターの環境活動登録団体となりました。センターを活用しての交通環境に関する情報を発信することとします。

(5) 鉄道ジャーナル誌に法人活動等掲載

当法人並びに会員の活動等を紹介する「ecotran 通信」を毎月鉄道ジャーナル誌に掲載しました。

#### 5. 法人のうごき

(1) 定時社員総会

日時 2018年(平成30年)6月9日(土) 11時~11時45分

場所 東武博物館ホール

出席社員数(委任状・事前議決権行使済みの者58名を含む) 84名(総社員数142)

報告・承認事項

1. 2017年度事業報告の件
2. 2017年度決算報告の件
3. 2018年度事業計画の件
4. 2018年度収支予算書の件

それぞれの内容を説明し、2017年度事業報告及び2017年度決算報告については、監事を代表して小島監事から正しく事実と認める旨の監査報告がなされた。

以上の件は、満場一致で一括承認がなされた。

決議事項

第1号議案会費改定の件

改定案並びに会員数の推移、会員の紹介を入会要件としたこと、法人会員の拡大に努力することの説明とともに本件の議決権の行使の状況(56名の賛成・2名の不賛成、1名の条件付き賛成)報告がされた。条件については、「年会費改定に伴い既存会員の流出や新規会員の加入妨げにならないよう改定時に考慮して欲しい」、「新規会員加入の会員紹介が無い方の障壁が高くなるのでは」というもので、前者については、個人会費の改定実施時期を1年間繰り延べし来年度から実施する中で理解を得る努力をすること、後者については事務局において加入動機をお聞きしたうえで受諾の対応をする考えが述べられた。

その後会場からは以下のとおりの質疑が行われた。

(問) 法人会員の値上額が大きいとその理由は。

(答) 現行の法人会員2社からは1口10,000円をそれぞれ5口分50,000円頂戴しており、それと比べると1

口だけの場合 48,000 円と値下げとなるが、値頃感を考慮するとともに途中加入する場合には残月数での支払いに対応できるように 12 で除することがきる額とした。

(問) 月割できる旨を記載したほうが良いのでは。

(答) 法人会員案内で明記いたしたい。

(問) 法人会員に対するアドバイスはこれまでも行っているか。

(答) 鉄道事業の安全制度や安全対策については地域鉄道技術安全懇話会において対応してきた。これまでの実績は、いすみ鉄道、ひたちなか海浜鉄道、若桜鉄道に対してアドバイスを実施。今後は安全対策に加えて鉄道事業経営上の法律的な相談にも応える体制をとる。

(問) 新たな法人会員の獲得見込みは。

(答) 現在 1 社加入をいただく予定となっており、今後さらに努力して参りたい。

(問) 事業計画で 10 年史の編纂とあるが今年発行の予定か。

(答) 今年は 10 年目で、2019 年 4 月で 10 周年を迎えることから 10 周年のイベントを考えて行く。10 年史もそこで発刊をできるように本年から準備をいたしたい。なお会報とは別個で発刊したい。

(問) 会報の一般への頒布額 1,500 円の値上げは考えているのか。

(答) 印刷費の値上げ等がなければ当面この頒布額を維持していきたい。

以上の質疑の後、会場に諮ったところ、満場一致で改定案のとおり決議が行われた。

## (2) 理事会

### ①2018 年 4 月 13 日 (金) 生涯学習センターばるーん

定時総会議案書について、地域鉄道フォーラム 2018 の開催について、鉄道写真詩コンテスト 2018 の開催について、一般社団法人交通環境整備ネットワーク 10 年史の作成について、その他

### ②2018 年 6 月 9 日 (土) 東武博物館

地域鉄道フォーラム 2018 開催について (手順確認)、その他

### ③2018 年 10 月 10 日 (水) 日本橋公会堂

鉄道写真詩コンテストの応募状況・今後の予定について、会報「地域交通を考える」の作成について、パンフレット「鉄道は地域の架け橋です」の配付について、地域鉄道フォーラム 2019 の開催案について、セミナートレインの開催について、その他

### ④2019 年 3 月 19 日 (火) 中央区立銀座区民館

定時総会議案書について、地域鉄道フォーラム 2019 の開催について、鉄道写真詩コンテスト 2019 の開催について、一般社団法人交通環境整備ネットワーク 10 年史の作成について、運営体制の見直しについて、その他

## (3) 会員数

2019 年 3 月 31 日現在            個人会員    141 名   法人会員   3 名

一般社団法人交通環境整備ネットワークは、皆様の会費で運営されております。

#### ○個人会員

##### 特典

- ・地域鉄道フォーラム等主催イベント開催への優先ご案内
- ・メールにより鉄道、バス等地域交通関係の諸情報の随時配信
- ・会報「地域交通を考える」への論文掲載、同会報の配布、発刊書籍の頒布 等

##### 会費

年会費	3,000 円	(4月～翌年3月まで有効、途中入会も同額)
入会金	2,000 円	(入会初年度のみ)

#### ○法人会員

##### 特典

当法人は鉄道行政経験者、鉄道事業経営者、法曹界、学識経験者等幅広い分野のスタッフを有しております。このスタッフを中心として、法人会員に対しては様々な課題に対して相談とアドバイスを行っております。

- ・鉄道事業に係る法律相談受付 ⇒ 弁護士・専門家が相談にお応えします
- ・鉄道事業に係る安全制度・安全対策アドバイス⇒地域鉄道技術安全懇話会の組織により各種相談にお応えします
- ・鉄道事業に係る営業制度・営業戦略アドバイス⇒地域鉄道支援事業本部及び地域鉄道支援事業アドバイザーチームが対応いたします
- ・鉄道事業に係る諸情報の収集及び提供 等

相談やアドバイスはすべて無料で、何回でもお気軽にご相談ください。ただし、現地に赴いて具体的対策を講じる等により交通費等の費用が発生する場合には別途相談の上、実費のご負担をお願いさせていただくことがあります。

- ・地域鉄道フォーラム等主催イベント開催への優先ご案内
- ・メールにより鉄道、バス等地域交通関係の諸情報の随時配信
- ・会報「地域交通を考える」への論文掲載、同会報の配布、発刊書籍の頒布 等

##### 会費

年会費	48,000 円	(4月～翌年3月まで、途中入会の場合は月額4,000円で残月数分)
入会金	2,000 円	(入会初年度のみ)

#### 会費の納入のお願い

2019年度(2019年4月～2020年3月)の年会費を、次の口座まで納入をお願いいたします。

郵便振替

口座番号 00170-6-546398

口座名称(漢字) 一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

銀行等からお振込みされる場合は、次をお願いいたします。

ゆうちょ銀行(019)当座 0546398

# 2018年度 決算報告書

第10期：2018年4月1日～ 2019年3月31日

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

収 支 計 算 書  
第10期：2018年4月1日～ 2019年3月31日

単位：円

科 目	予算額 a	決 算 額				差異 a-b	備 考
		一般会計	収益事業	内部取引消去	合計b		
1. 事業活動収支							
(1) 事業活動収入							
① 受取入会金	10,000	3,000			3,000	7,000	
② 受取年会費	370,000	386,000			386,000	△ 16,000	
③ 事業収益	140,000				0	140,000	
④ 受取寄付金	280,000	280,000			280,000	0	
⑤ 雑収入等	5,000	3,002	2		3,004	1,996	
⑥ 他会計からの繰入額	0	0	0		0	0	
事業活動収入計	805,000	672,002	2	0	672,004	132,996	
(2) 事業活動支出					0		
① 事業費支出	570,000	535,017	7,860	0	542,877	27,123	
② 管理費支出	293,000	223,333	70,000	0	293,333	△ 333	
③ 他会計への繰出額	0	0	0		0	0	
事業活動支出計	863,000	758,350	77,860	0	836,210	26,790	
事業活動収支差額	△ 58,000	△ 86,348	△ 77,858	0	△ 164,206	106,206	
2. 投資活動収支							
(1) 投資活動収入	0	0	0	0	0	0	
(2) 投資活動支出	0	0	0	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	0	0	0	
3. 財務活動収支							
(1) 財務活動収入	0	0	0	0	0	0	
(2) 財務活動支出	0	0	0	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	0	0	0	
4. 予備費支出	10,000	0	0	0	0	10,000	
当期収支差額	△ 68,000	△ 86,348	△ 77,858		△ 164,206	96,206	
前期繰越収支差額	704,548	506,961	197,587		704,548	0	
次期繰越収支差額	636,548	420,613	119,729		540,342	96,206	

消費税等の会計処理は、税込方式による。

## 事業活動支出の内訳

単位:円

科 目	予算額 a	決 算 額				差異 a-b	備 考
		一般会計	収益事業	内部取引 消去	合計b		
1. 事業費							
(1)地域鉄道フォーラム等の開催	80,000	98,858			98,858	△ 18,858	ポスター等
(2)鉄道写真詩コンテストの開催	300,000	307,439			307,439	△ 7,439	
(3)会報の作成	120,000	128,720			128,720	△ 8,720	
(4)地域鉄道支援	70,000		7,860		7,860	62,140	
事業費計	570,000	535,017	7,860		542,877	27,123	
2. 管理費							
(1)旅費交通費	10,000	2,000			2,000	8,000	
(2)通信費	70,000	97,254			97,254	△ 27,254	郵便、宅配便
(3)諸会費	3,000	1,350			1,350	1,650	
(4)会議費	10,000	13,770			13,770	△ 3,770	理事会等
(5)印刷製本費	5,000	7,054			7,054	△ 2,054	
(6)賃借料	80,000	66,096			66,096	13,904	事務所・電話借料
(7)事務用消耗品費	20,000	20,538			20,538	△ 538	
(8)新聞図書費	5,000	600			600	4,400	
(9)委託費	0	0			0	0	
(10)租税公課	80,000	0	70,000		70,000	10,000	法人税等
(11)雑費	10,000	14,671			14,671	△ 4,671	振込手数料等
管理費計	293,000	223,333	70,000		293,333	△ 333	
3. 他会計への繰出額	0				0	0	
事業活動費計	863,000	758,350	77,860		836,210	26,790	

## 収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲 資金の範囲は、現金預金額の範囲内
2. 次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳

単位:円

科 目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	816,548	649,342
未収入金	0	4,000
前払費用	0	0
立替金	0	0
資産 a	816,548	653,342
短期借入金	0	0
未払費用	0	0
未払金	70,000	70,000
預り金	0	0
前受金	42,000	43,000
負債 b	112,000	113,000
繰越収支差額 a-b	704,548	540,342

## 貸借対照表

2019年3月31日現在

単位:円

科目	当年度				前年度 b	増減 a-b	備考
	一般会計	収益事業	内部取引 消去	合計 a			
1. 資産の部							
(1) 流動資産							
現金預金	459,613	189,729		649,342	816,548	△ 167,206	
未収入金	4,000			4,000	0	4,000	会費
前払費用				0	0	0	
立替金				0	0	0	
流動資産合計	463,613	189,729		653,342	816,548	△ 163,206	
(2) 固定資産							
什器備品	0	0		0	0	0	
固定資産合計	0	0		0	0	0	
資産合計	463,613	189,729		653,342	816,548	△ 163,206	
2. 負債の部							
(1) 流動負債							
短期借入金	0	0		0	0	0	
未払費用				0	0	0	
未払金		70,000		70,000	70,000	0	法人税等
預り金				0	0	0	
前受金	43,000	0		43,000	42,000	1,000	会費前受け
負債合計	43,000	70,000		113,000	112,000	1,000	
3. 正味財産の部							
基金	700,000	0		700,000	700,000	0	
一般正味財産	△ 279,387	119,729		△ 159,658	4,548	△ 164,206	
正味財産合計	420,613	119,729		540,342	704,548	△ 164,206	
負債及び正味財産合計	463,613	189,729		653,342	816,548	△ 163,206	

## 正味財産増減計算書

第10期: 2018年4月1日～ 2019年3月31日

単位:円

科目	当年度				前年度 b	増減 a-b	備考
	一般会計	収益事業	内部取引 消去	合計 a			
I 基金増減の部							
基金期首残高	700,000			700,000	700,000	0	
基金期末残高	700,000			700,000	700,000	0	
II 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
受取入会金	3,000	0		3,000	8,000	△ 5,000	
受取年会費	386,000	0		386,000	370,000	16,000	
事業収益	0	0		0	6,000	△ 6,000	
受取寄付金	280,000	0		280,000	150,000	130,000	
雑収入等	3,002	2		3,004	3,741	△ 737	
他会計からの繰入額	0	0		0	0	0	
経常収益合計	672,002	2		672,004	537,741	134,263	
(2) 経常費用							
事業費	535,017	7,860		542,877	583,696	△ 40,819	
管理費	223,333	70,000		293,333	311,196	△ 17,863	
他会計への繰出額	0	0		0	0	0	
経常費用計	758,350	77,860		836,210	894,892	△ 58,682	
当期経常増減額	△ 86,348	△ 77,858		△ 164,206	△ 357,151	192,945	
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	0	0		0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0		0	0	0	
当期経常外増減額	0	0		0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 86,348	△ 77,858		△ 164,206	△ 357,151	192,945	
一般正味財産期首残高	△ 193,039	197,587		4,548	361,699	△ 357,151	
一般正味財産期末残高	△ 279,387	119,729		△ 159,658	4,548	△ 164,206	
正味財産合計	420,613	119,729		540,342	704,548	△ 164,206	

財務諸表に対する注記

## 重要な会計指針

- 「公益法人会計基準」(平成20年4月11日・改正平成21年10月16日付け内閣府公益認定等委員会)に準拠しています。
- 消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2019年4月2日

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク  
代表理事 原 潔 様

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

小島好己 ⑩

入江 聡 ⑩

監 査 報 告 書  
第10期：2018年4月1日～ 2019年3月31日

私は、2018年4月1日から2019年3月31日までの第10期会計年度における会計及び業務の監査を行い、その結果を次のとおり報告する。

1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査は、帳簿並びに関係書類の整合閲覧により、決算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査は、理事会及びその他の会議に出席し、必要と思われる事項について理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等により業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 財務諸表及び収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、収支状況及び財務状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 事業報告書の内容は、事実と認める。

以上

# 2019年度 事業計画

## 一般社団法人交通環境整備ネットワーク

地域の鉄道は、それを結ぶバスとともに人々の移動を確保することのほか、地域のコミュニティやそこの伝統や文化をも育んできました。

今日、CO2 排出量が少なく環境負荷の小さい交通体系の構築が持続可能な社会を支えるうえでも不可欠となっています。

そのためには鉄道やバスの利便性の向上、ネットワークの強化といった交通環境の整備が必要であり、一般社団法人交通環境整備ネットワークにおいては交通環境全般の調査研究を行うと共にその整備の推進、情報の発信を行ってまいります。

### 1. 交通環境の調査研究

地域鉄道、都市鉄道、幹線鉄道、バス等の交通環境に関する諸情報を収集し、その歴史的背景や運営方策等、交通環境全般にわたる調査研究を行います。

調査研究の成果については会報「地域交通を考える」等を通じて広く公表を行います。

### 2. 交通環境の整備

環境負荷が小さく、より良い交通環境の整備を進めていくためには、今ある地域交通の状況を広く多くの方に知っていただく必要があります。

そのため、地域鉄道フォーラムを開催するとともに、新たな鉄道の魅力を発掘、発信するための鉄道写真詩コンテストを開催します。

(1) 地域鉄道フォーラム 2019「鉄道と映画」を開催します。

期 日：2019年（平成31年）6月8日（土）13時00分～15時15分

場 所：東武博物館ホール

参加費：無料。ただし、東武博物館への入場料大人200円が必要です。

内容：

映画の発明と同時に鉄道がそのスクリーンに登場し、その後も様々な映画において鉄道は主人公にも、また名脇役にもなってきました。

また、近年鉄道側でもフィルムコミッション等を通じ、積極的にロケーションを勧誘する動きもあります。

そこで映画史から鉄道と映画の関わりを探るとともに、映画において鉄道が果たす役割や期待を論じていただきます。

(プログラム)

1. 来賓あいさつ 国土交通省鉄道局鉄道事業課長 石原 大氏
2. 基調講演Ⅰ「鉄道と映画」元 財団法人運輸政策研究機構会長 羽生次郎氏  
基調講演Ⅱ「映画製作と鉄道」 映画監督・脚本家 錦織良成氏
3. トークセッション「鉄道と映画のこれから」  
コーディネーター／社会学者・詩人・國學院大学教授 水無田気流氏  
羽生次郎 氏  
錦織良成 氏  
社会学者・社会哲学者・愛知学泉大学講師 田中 人 氏

(2) 鉄道写真詩コンテスト 2019 を開催します。

①写真の撮影及び詩作は同一人であって、未発表のものに限ります。

②応募点数は一人3点までとします。

③写真は、鉄道を題材としたものであって単写真に限ります（組写真は不可）。銀塩写真、デジタル写真の別、カラー、モノクロの別は問いません。画像ファイルは、JPEG形式とし、ファイルサイズは5MB以内（大きい画像は5MB以内に圧縮）とします。

- ④詩は、自由詩、散文詩のいずれも可。一行詩から、20行未満の詩であって、20字×20行=400字以内とします。

#### 表彰

入賞（各賞、表彰状及び副賞 20,000 円ギフトカード）

国土交通省鉄道局長賞

米屋こうじ賞

水無田気流賞

エコトラン賞

入選（若干数、表彰状及び副賞 10,000 円ギフトカード）

作品募集期間 自 2019 年 7 月 1 日

至 2019 年 9 月 30 日

受賞作品の発表 2019 年 10 月 31 日

受賞作品の展示 東武博物館及・鉄道博物館・日本現代詩歌文学館・東北福祉大学 鉄道交流ステーション

このほかセミナー・トレインの開催を検討し、決定次第ホームページやインターネットメールによってお知らせいたします。

また、国、地方公共団体、大学、鉄道会社等の交通環境整備に資する諸活動への参加、後援及び協力を行います。

### 3. 地域鉄道支援事業

地域鉄道に対して法律相談や安全対策等の支援を行います。

### 4. 交通環境にかかる提言、出版並びに情報発信

(1) インターネットによる情報発信

インターネットホームページ <https://ecotran.or.jp> を使って情報発信を行うとともに、鉄道諸情報等を収集、メールによる情報配信を行います。

(2) 会報「地域交通を考える」の発行

交通環境調査研究の成果及び地域鉄道等の諸情報をまとめた会報「地域交通を考える」を発行します。発行は、11 月を予定しています。

(3) 10 年史の編纂

当法人は 2009 年 4 月に発足し、本年 4 月で 10 周年を迎えます。法人のこれまでのあゆみを編纂いたします。

(4) 中央区立環境情報センターからの情報発信

中央区環境情報センターを利用して、交通環境に関する情報を発信していきます。

(5) 鉄道ジャーナル誌に活動報告掲載

当法人並びに会員の活動等を紹介する記事を、「ecotran 通信」として月刊鉄道ジャーナル誌に掲載し、広く一般の方に周知を行います。

2019年度 収支予算書

単位:円

項 目	一般会計	収益事業	内部取引消去	当年度予算額合計	前年度予算額合計
1. 事業活動収支					
(1) 事業活動収入					
①受取入会金	12,000			12,000	10,000
②受取年会費	534,000			534,000	370,000
③事業収益		140,000		140,000	140,000
④受取寄付金(協賛金)	280,000			280,000	280,000
⑤雑収入等	5,000			5,000	5,000
⑥他会計からの繰入額	0	0		0	0
事業活動収入計	831,000	140,000		971,000	805,000
(2) 事業活動支出					
①事業費支出	579,000	70,000		649,000	570,000
②管理費支出	242,000	70,000		312,000	293,000
③他会計への繰出額	0	0		0	0
事業活動支出計	821,000	140,000		961,000	863,000
事業活動収支差額	10,000	0		10,000	△ 58,000
2. 投資活動収支					
(1) 投資活動収入	0	0		0	0
(2) 投資活動支出	0	0		0	0
投資活動収支差額	0	0		0	0
3. 財務活動収支					
(1) 財務活動収入	0	0		0	0
(2) 財務活動支出	0	0		0	0
財務活動収支差額	0	0		0	0
4. 予備費支出	10,000	0		10,000	10,000
当期収支差額	0	0		0	△ 68,000
前期繰越収支差額	420,613	119,729		540,342	704,548
次期繰越収支差額	420,613	119,729		540,342	636,548

事業活動支出の内訳

単位:円

項 目	一般会計	収益事業	内部取引消去	当年度予算額合計	前年度予算額合計
1. 事業費					
(1)地域鉄道フォーラム等の開催	99,000			99,000	80,000
(2)鉄道写真詩コンテストの開催	310,000			310,000	300,000
(3)会報・10年史の作成	170,000			170,000	120,000
(4)地域鉄道支援事業		70,000		70,000	70,000
事業費計	579,000	70,000		649,000	570,000
2. 管理費					
(1)旅費交通費	10,000			10,000	10,000
(2)通信費	99,000			99,000	70,000
(3)諸会費	1,000			1,000	3,000
(4)会議費	10,000			10,000	10,000
(5)印刷製本費	7,000			7,000	5,000
(6)賃借料	70,000			70,000	80,000
(7)事務用消耗品費	20,000			20,000	20,000
(8)新聞図書費	5,000			5,000	5,000
(9)委託費	0			0	0
(10)租税公課	10,000	70,000		80,000	80,000
(11)雑費	10,000			10,000	10,000
管理費計	242,000	70,000		312,000	293,000
3. 他会計への繰出額	0	0		0	0
事業活動費計	821,000	140,000		961,000	863,000

## 第1号議案 理事選任の件

現在理事を務める候補番号1から7は、本総会終結の時をもって任期満了となりますので再選任を、また体制の強化を図るため候補番号8から10の新たな3名の選任をお願いします。

候補者番号	氏名 (生年月日)	略歴
1	原 潔 (昭和23年9月28日)	運輸省、国土交通省を経て千葉都市モノレール取締役運輸部長、日本民営鉄道協会総務広報部長、(財)運輸政策研究機構運輸政策研究所研究員を務める。鉄道史学会会員。平成21年3月より当法人専務理事、平成27年より代表理事(現在)
2	齋藤 実 (昭和25年9月29日)	運輸省、日本鉄道建設公団、運輸施設整備事業団、国土交通省を経て、東武鉄道株式会社鉄道事業本部計画管理部参事役を務める。平成21年3月より当法人理事、平成27年より専務理事(現在)
3	向後 功作 (昭和38年2月5日)	銚子電気鉄道次長、銚子市観光プロデューサー等を経て、株式会社観光交通プロデュース取締役社長。総務省地域力創造アドバイザー、関東運輸局地域公共交通マイスター、放送大学非常勤講師。平成21年3月より当法人常務理事(現在)
4	吉田 千秋 (昭和39年11月24日)	富山地方鉄道、万葉線株式会社を経て、2008年4月よりひたちなか海浜鉄道株式会社取締役社長。関東運輸局地域公共交通マイスターを務める。平成21年3月 当法人理事、平成22年7月より当法人常務理事(現在)
5	田中 人 (昭和43年6月23日)	早稲田大学助手、亜細亜大学、早稲田大学、立教大学等を経て愛知学泉大学講師・慶應義塾大学講師。社会学者、社会哲学者(コミュニティ論・現代文化論など)。平成21年3月より当法人理事(現在)
6	藤本 昌弘 (昭和44年4月19日)	鉄道等の乗車券全般にわたるデザインと印刷を手がけ、貴重となった硬券印刷において屈指の技術を有する関東交通印刷株式会社代表取締役。平成25年6月より当法人理事・地域鉄道支援事業本部長(現在)
7	唐崎 好彦 (昭和29年10月1日)	日本鉄道建設公団入社、運輸省鉄道監督局、国際協力事業団、九州新幹線建設局、北陸新幹線第二建設局、鉄道・運輸機構広報課長、同機構監査室長、業務・用地統括役等を経て同機構健康保険組合常務理事。平成23年6月より当法人監事、平成27年より理事(現在)
8	山口 禎一 (昭和28年1月18日)	航空・鉄道事故調査委員会事務局鉄道事故調査官、鉄道防災対策官、事故対策官、北海道運輸局鉄道部長、北陸信越運輸局鉄道部長、鉄道・運輸機構鉄道助成部担当部長等を経て小田急電鉄安全・技術部担当部長。平成28年8月より当法人審議役(現在)
9	澁谷 房子 (昭和31年6月4日)	津軽鉄道(株)入社後総務及び経理、企画部門を担当、管理・企画グループを統括する執行役員を経て、現在同社社長付顧問。平成23年4月より当法人審議役(現在)
10	上岡 佳子 (関西佳子) (昭和38年1月21日)	野村證券を経て、水間鉄道に入社。同社総務部長、社長、会長を歴任。平成28年12月より当法人審議役(現在)

## 第2号議案 監事選任の件

監事1名の選任をお願いします。

当法人の監事は任期4年となっており、入江聡監事と小島好己監事の2名体制で執行しておりますが、入江聡監事が任期満了となりますので再選任をお願いします。

氏名 (生年月日)	略歴
いりえ さとし 入江 聡  (昭和40年3月1日)	船橋市役所入所、技術士(建設部門 都市及び地方計画)、総合旅行業務取扱管理者。 平成27年6月より当法人監事(現在)